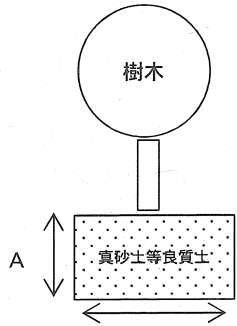


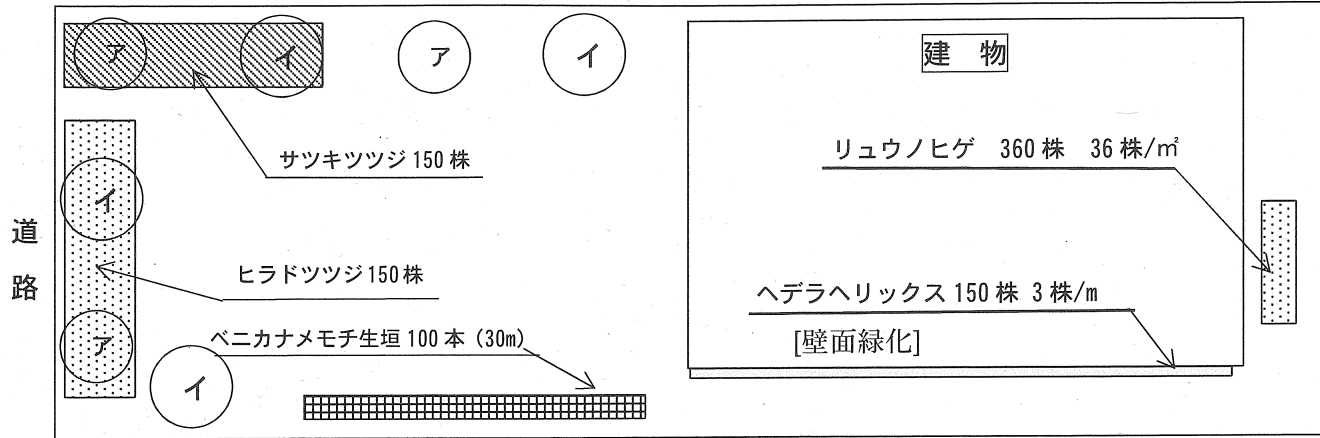
植栽平面図の作成例

〈植栽帯の構造図〉



A: 真砂土等の良質土による標準的な客土厚

- ・高木：60cm以上
- ・中木：50cm以上
- ・低木：40cm以上
- ・地被：20cm以上
- ・ツル植物(計画高さ6m以下)：40cm以上



※低木の面積の根拠として次のいずれか記載
⇒「面積はCAD求積」又は「別途求積図添付」

〔凡例〕

記号	区分	樹種	規格 (m)	数量	支柱	土壌改良材	備考
ア	高木	アラカシ	H=3.0 C=0.12 W=0.8	3本	2脚鳥居	混合(B): 20L/本	
イ	"	イロハモミジ	H=3.5 C=0.20 W=1.8	4本	3脚鳥居	混合(B): 70L/本	
[Hedge symbol]	生垣	ベニカナメモチ	H=1.5 W=0.4	100本	生垣工A	混合(B): 15L/本	3.3本/m
[Shrub symbol]	低木	サツキツツジ	H=0.3 W=0.4	150株		混合(B): 4L/株	6株/m²
[Shrub symbol]	"	ヒラドツツジ	H=0.5 W=0.5	150株		混合(B): 5L/株	6株/m²
[Wall greening symbol]	壁面緑化	ヘデラヘリックス	VPO.9 L0.3m	150株		混合(B): 客土量の20%	3株/m
[Ground cover symbol]	地被	リュウノヒゲ	VPO.9	360株		混合(B): 客土量の20%	36株/m²

標準的な植穴サイズ、土壌改良材必要量、支柱

区分	規格	植穴径	植穴深	土壌改良材			支柱
				混合B	パーク堆肥	発泡材	
低木	H<30cm	29	23	3	0.501	2.001	不要
	30≤H<50	33	26	4	0.668	2.668	不要
	50≤H<80	37	28	5	0.835	3.335	不要
	80≤H<100	41	31	7	1.169	4.669	不要
中木	100≤H<150cm	46	35	10	1.670	6.670	1本支柱(生垣の場合は布掛支柱)
	150≤H<200	54	40	15	2.505	10.005	1本支柱(生垣の場合は布掛支柱)
	200≤H<250	61	46	22	3.674	14.674	1本支柱(生垣の場合は布掛支柱)
	250≤H<300	69	51	31	5.177	20.677	1本支柱(生垣の場合は布掛支柱)
高木	C<15cm	75	40	20	3.340	13.340	2脚鳥居
	15≤C<20	87	46	40	6.680	26.680	2脚鳥居
	20≤C<25	99	53	70	11.690	46.690	2脚鳥居又は3本支柱(ハツ掛)
	25≤C<30	111	59	100	16.700	66.700	2脚鳥居又は3本支柱(ハツ掛)
	30≤C<35	117	62	110	18.370	73.370	2脚鳥居又は3本支柱(ハツ掛)
	35≤C<45	141	75	190	31.730	126.730	2脚鳥居又は3本支柱(ハツ掛)
	45≤C<60	171	90	310	51.770	206.770	2脚鳥居又は3本支柱(ハツ掛)
	60≤C<75	207	109	480	80.160	320.160	4脚合掌型又は3本支柱(ハツ掛)
75≤C<90	243	128	670	111.890	446.890	4脚合掌型又は3本支柱(ハツ掛)	

※地被やツル植物の場合は客土量の20%を目安に土壌改良材を使用するのが望ましい。
※植込み時には植穴径、植穴深さの範囲で十分に土壌改良材と客土を混合してください。

※樹木の規格：H=樹高 C=幹周(根鉢の上端より1.2m上がりの位置の幹の周長)

W=枝張・葉張 C(株立の場合)=おのおの周長の総和の70%

※支柱の規格・仕様：建設局「神戸市公園施設標準図集」参照

※土壌改良材の混合(B)は1L当り有機質土壌改良材(パーク堆肥)0.167kg、発泡材(真珠岩系又は黒曜石系)0.667Lを配合したもの。

※発泡材

客土の透水性が良い場合は真珠岩系パーライト、透水性および通気性が悪い場合は黒曜石系パーライトを使用する。

※植栽に不適な土壌への対策

西北神地区や須磨区などに分布する神戸層群など植栽土壌として著しく不適な場合は客土による土壌の全面入替とともに根腐れ防止対策として排水層、透水管の設置などの対策を行う。

緑化計画届、完了届の作成にあたっては「神戸らしい緑化ガイドライン」を参照してください。